

福井市中央1丁目エリアマネジメント協議会

「 設 立 報 告 」

令和8年3月

設 立 趣 旨

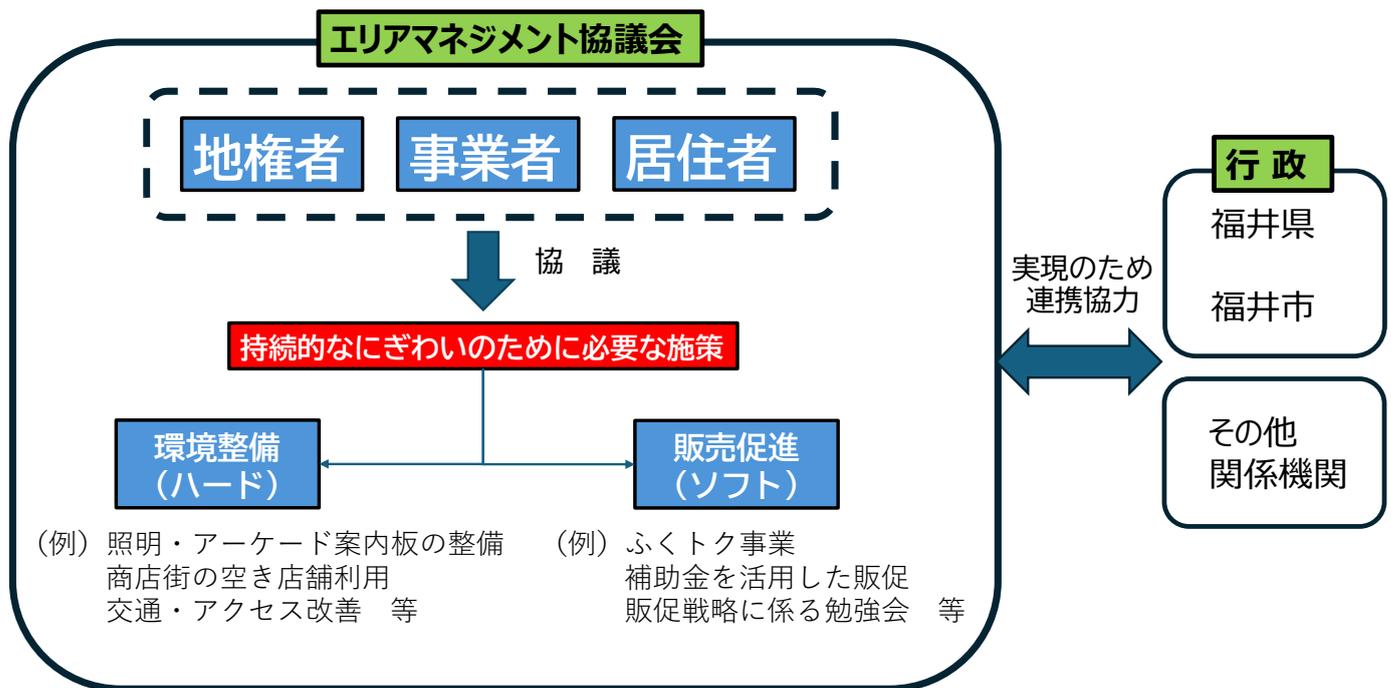
令和6年3月の北陸新幹線福井・敦賀開業を契機に、福井市の中心市街地である中央1丁目エリアでは再開発が進み、人の流れや都市機能に変化が生じている。今後の課題は、この変化を一過性の活況で終わらせることなく、エリアとしての価値向上につなげ、継続的に更新していく仕組みを構築することである。

また、福井市が改定した「都市計画マスタープラン」においては、従来の「中心市街地」に加え、新たに福井駅東口周辺や、足羽川、足羽山周辺を含めたエリアをにぎわいと交流の新たな拠点として「都心部」と定めたところである。

こうした中、中央1丁目に関わる地権者、事業者および居住者等が主体となり、エリアの将来像を共有し、課題の抽出から各々が取り組むべき具体的な施策の立案・実現までを一体的に協議する組織として、「福井市中央1丁目エリアマネジメント協議会」を設立する。

本協議会は、地権者、事業者および居住者が対象エリアの持続的なにぎわいのために必要な施策を自ら立案および実現することを前提に、そのために必要な情報共有や行政その他関係機関との連携および協力を行うことを目的とする。商業・居住・教育など多様な機能が集積する当エリアの特性を踏まえ、エリア全体の価値最大化を目的に連携・調整を行うプラットフォームとして機能し、中央1丁目が都心部の中核として選ばれ続けるエリアとなることを目指す。

「エリアマネジメント協議会」のイメージ



福井市中央1丁目エリアマネジメント協議会

【役員】

役職	所属等		氏名
会長	鳩之御門商店街協同組合	理事長	梅田 敬 男
副会長	(株)そごう・西武 西武福井店	店長	田中 香 苗

【委員】

区分	所属等		氏名	
地権者	FUKUMACHI BLOCK 施設管理組合	理事長	市橋 信 孝	
	福井駅前電車通り北地区B街区 市街地再開発組合	//	藤井 裕	
	福井駅前南通り地区 市街地再開発組合	//	齊藤 隆 美	
	福井市中央1丁目地権者の会	会長	加藤 幹 夫	
事業者	商店街組合	サンロード北の庄商店街振興組合	理事長	友田 剛 嗣
		新栄商店街振興組合	//	古市 三 郎
		福井駅前商店街振興組合	//	松尾 大 輔
		元町商店街協同組合	//	松尾 大 輔
		元町南通り商店街組合	//	油谷 光 紀
	大規模商業施設	金沢ターミナル開発(株) 福井支店 くるふ福井駅	取締役 福井支店長	川岸 宏 樹
		ハピリンモール(株)	テナント営業部 部長	山内 か お り
		(一社)FOOD COMMONS 福井駅前フードホールMINIE	理 事	稲葉 光 俊
	居住者	自治会	福井市順化地区自治会連合会	会 長
マンション		エリアス管理組合	理事長	齊藤 剛
		グラン・シェル福井駅前 (株)日本オカダエンタープライズ	代表取締役 社 長	岡田 明 子
		シンフォニータワーコート ハピリン管理組合住宅部会 管理会社 三谷不動産(株)	取締役	竹田 美 保
		デュオヒルズ 福井駅前管理組合	理事長	酒井 一 孝
FUKUMACHI BLOCK マンション棟 ザ・福井タワー住宅管理組合	住宅理事長	小寺 宏 邦		

※各所属団体の役員が、交代あるいは新たに選任された場合は、その者を委員とする。

(五十音順・敬称略)

【事務局】

役職	所属等		氏名
事務局長	まちづくり福井(株)	代表取締役 社 長	松尾 大 輔

令和7年度 重点提案・要望について

1 持続的なにぎわい創生のための環境整備

令和8年度を期限とする県都まちなか再生ファンド事業は、福井市中央1丁目を始め、対象エリアにおける積極的な民間投資に繋がっている一方、大型の事業を中心に期限までの申請が間に合わない案件や事業検討箇所が対象エリアに含まれていない案件もあると聞きます。

このため、にぎわい創生のための環境整備を令和9年度以降も切れ目なく実現すべく、県都まちなか再生ファンド事業の後継となる補助メニューを新設するとともに、対象となるエリアや事業内容について地域の実情を十分勘案し、地元関係者が主体的に目指す将来像に即した支援内容となることを要望いたします。

あわせて、まちなかへの来街を支える基盤として、来街者向け駐車場の確保や円滑な交通動線の形成、公共交通の利便性向上、アクセス環境の整備、また都心部の就業者・居住者が必要とする車両利用環境についても、一体的に配慮されるよう要望いたします。

2 消費行動の促進と経済活動の活性化

昭和3年（1928年）のだるま屋百貨店の開店以来100年近く、福井市中央1丁目エリアは福井市のみならず県内随一の商業地として地域経済の発展に寄与してきましたが、近年は、郊外店舗の発展等、消費者の選択肢が分散し、厳しい経営環境となっています。

こうした中、今年度、福井駅前商店街振興組合を中心に中心市街地エリア全体で小規模店舗と大規模商業施設が連携して共同販促を行う「ふくとく」事業を始めたところであり、現在、公式LINEの登録者は17,000人を超えています。

これからも地元のお客様に選ばれる、より一層魅力ある買物エリアを目指し、まちなかの回遊性を高め消費循環を加速させる施策等を持続的に推進するため、「ふくとく」事業への支援を要望いたします。

3 地域経済における恐竜ブランドの活用

北陸新幹線の開業に合わせ県や市により福井駅前に多数の恐竜モニュメント等が設置されたこともあり、福井の恐竜ブランドは全国的にも認知度が高まっています。

一方、恐竜ブランドを活用し地域経済の活性化につなげる民間主体の動きはまだまだ弱いのが現状です。

恐竜ブランドを単に観光資源として活用するだけでなく、来街者の回遊や滞在による消費喚起につなげるため、福井市中央1丁目エリアを中心に恐竜をテーマとした空間的な魅力形成の方向性について検討を進めるとともに、民間主導による恐竜関連コンテンツの創出や展開を後押しする支援制度の充実を要望いたします。

4 アリーナ整備と地域経済の連動強化

現在、福井商工会議所を中心に検討が進められているアリーナ整備は、新たな来街機会の創出と都市の集客機能向上に寄与するものと期待しております。

一方で、その効果を地域経済の活性化やまちのにぎわいへ波及させるためには、整備前の段階から官民連携による受け皿づくりを進めることが重要であると考えます。

こうした観点から、来訪者の回遊、滞在、消費行動につながる環境形成について、エリアマネジメントの観点を踏まえた協議の場の構築および連携体制の整備を要望いたします。

5 安心して暮らせる住環境や生活利便性の充実

北陸新幹線の開業を契機として福井市中央1丁目エリアを中心に多くのマンションが建設されており、商業地としてのみならず居住地としてのエリアマネジメントも重要な課題となっています。

防犯体制の強化や違法駐輪の防止など安心して暮らせる住環境を守るための取組を進めるとともに、長年の課題となっているスーパーマーケットをはじめとした生活用品を購入できる店舗の誘致につながる支援策の検討を要望いたします。